

各 位

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 加藤 早苗

令和 8 年度 文部科学省委託留学生に対する日本語教師【初任】研修(ご案内)

1.研修の趣旨と目的

一般財団法人 日本語教育振興協会(以下「日振協」)は、2018~2019 年度に文化庁委託日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業(以下「開発事業」)として日本語教師【初任】(活動分野:留学生)に対する研修を実施し、2020 年度から開発事業の後継事業である「日本語教育人材の研修プログラム普及事業」、令和 5 年度から「現職日本語教師研修プログラム普及事業」、本年度からは「現職日本語教員研修プログラム開発・実施事業」として日本語教師初任者研修を実施しております。

本研修のカリキュラムは文化審議会国語分科会の「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)」に基づいており、初任者が体系的・計画的に日本語指導を行うための実践的能力として(1)自律的・持続的な成長力(2)対話力(3)専門性の3つの資質・能力の養成を狙いとした90 単位時間のプログラムです。忙しい仕事の合間を縫って学べるよう、また地方の日本語教育機関の新任の先生方への負担を減らすため、e-Learning を利用したフルオンラインでの研修となっています。

2.募集人数

140 名

全国への普及を目的としているため、大都市圏以外の地域からの応募も歓迎です。

3.応募資格と応募条件

(1)応募資格

法務省の告示および文科省の認定を受けた日本語教育機関の日本語教師として採用されて原則 3 年以内の方。(お申込内容に基づき、参加資格を確認させていただきます。)

(2)応募条件(以下の条件全てに当てはまる方)

- ①オリエンテーションおよび 3 回の集合研修(オンライン開催)の全てに出席できる方
- ②授業を担当してご自身の授業(数十分)を録画して分析することが可能な環境にある方
(授業の録画を行う際は、ご自身で勤務校の許可をお取りください。映像は自己分析にのみ使用し、提出いただくことも、誰かと共有することもございません。)
- ③外付け・内蔵を問わずカメラ・マイクのあるPCでの受講環境を準備できる方(携帯・タブレットからの参加不可)
- ④集合研修の録画に同意いただける方(日振協の内部記録用であり、公開はいたしません。)
- ⑤研修中・研修後に実施する数回のアンケートに全て回答いただける方
- ⑥自律的・積極的に多くの知識や新たな気づきを自分のものにして成長していく意思のある方。
- ⑦連携力・協働力の成長に意欲があり、積極的にグループメンバーと関わっていける方。

4.研修期間

2026 年9月3日(木)から 2026 年12月26日(土)まで

5.受講料等

18,000 円(消費税込み)

※教材費は含まれております。

※オンライン研修のために必要な通信費などは、受講者負担です。

6.研修内容

(1)オリエンテーション

受講生にはあらかじめ受講ガイドと説明動画を共有しますので、視聴した上でオンライン集合形式のオリエンテーションを実施します。

オリエンテーション(オンライン集合研修) ①初任者研修概要 ②チームビルディング	9月3日(木)	19:00~21:00
--	---------	-------------

(2)オンライン映像講義

LMS(学習管理システム)を用いてご自身のご都合に合わせて好きな時に視聴いただけます。

日本語教育界の現状把握と初任段階の日本語教師に必要な基礎知識の習得を目指します。

第一線で活躍する12人の講師による講義(115本総時間 26時間)が研修終了日まで何度でも視聴いただけます。

視聴後、理解度確認クイズに回答することで単位取得となります(締切日あり)。

日本語教育・日本語教育機関の変遷	西原鈴子(NPO 法人日本語教育研究所 理事長)
日本語教育機関の歴史と現状	加藤早苗(日本語教育振興協会 理事長)
日本語留学生の背景	奥田純子(元コミュニケーション学院 学院長) 亀田美保(大阪 YMCA 日本語教育センター センター長) 山本弘子(カイ日本語スクール 代表)
日本語教育の参照枠	奥村三菜子(NPO 法人 YJY ゆるくてやさしい日本語のなかまたち 副理事)
統計処理(テスト・評価・成績管理)	島田めぐみ(日本大学大学院総合社会情報研究科 教授)
著作権	我妻潤子(知財アナリスト、東京藝術大学非常勤講師)
教案作成	倉本文子(カイ日本語スクール研修担当主任)
教材作成	藤本かおる(武蔵野大学グローバル学部 准教授)
評価法	高橋薫(創価大学学士課程教育機構 准教授)

※スケジュールを組んで計画的に視聴を進めてください。

※資料の配布はありません。視聴しながらノートを取り、ご自身の「学びのノート」を作成してください。

※「映像内に理解度確認クイズの答えが見当たらない」等のご質問には回答いたしかねます。

※音声聞き取りにくい、話し方が明瞭ではない講義もありますが、予めご了承ください。

※制作年が古いことが内容の古さではないことをご承知おきください。

(3)オンライン集合研修

オンラインによるグループ活動での専門的ネットワーク形成と連携力・協働力の育成を目指します。
今年度のテーマは「『日本語教育の参照枠』を活用した授業づくり」です。
例年、全国の初任の先生同士、意見交換・情報交換し、繋がることのできる貴重な機会になっています。

ワークショップ① 「日本語教育の参照枠」を活用した授業づくりのための ワークショップ(理解編)	10月4日(日)	13:00~17:30
ワークショップ② 「日本語教育の参照枠」を活用した授業づくりのための ワークショップ(実践編)	10月18日(日)	13:00~17:30

(4)自己研修

自己点検映像講義視聴後、ご自身の授業を録画し文字起こしした上で自己分析します。
分析結果をレポートとして提出し、オンライン集合研修で発表と受講生どうしの相互評価を行います。
自己点検により自己点検能力・自己修正力を育成し、教授能力の向上を目指します。

自己点検(映像講義)	金田智子(学習院大学文学部 教授)	
ワークショップ③相互評価 オンライン発表会／修了式	12月26日(土)	13:00~15:30

- ※自分の授業を撮影しての授業分析(11月上旬~12月初旬予定)
- ※自己点検レポート作成・提出、ループリットを見ながらの相互評価を全てオンライン上で実施。
- ※ワークショップ③の修了後、研修全体を締め括る修了式を実施します。

(5)資質・能力自己チェックと習得度チェックテスト

研修始めと終わりに「留学生に対する日本語教師【初任】に求められる資質・能力」の理解度 アンケートを実施し、この研修でご自身の中で理解度がどのように変化したか、ご自身で確認していただきます。

7.インターネット通信環境等の要件

※集合研修当日に通信状況が悪く参加できないと単位が取得できません。通信不良による救済措置はございませんので、必ず環境を整えてご参加ください。

- (1)毎日チェックできる個人のメールアドレス(携帯アドレス不可)
- (2)gmail アドレス((1)と同じであれば、メールアドレスを2つご用意いただく必要はありません。)
- (3)PC(携帯・タブレット不可)・Web カメラ・ヘッドセット(またはマイク付きイヤホン) パソコン本体に内蔵されていない場合は別途準備してください。
- (4)研修に支障の無いインターネット環境(光回線の有線接続、高速のwifi等) 映像講義視聴、ZOOMでの集合研修受講に支障が出ないようお願いいたします。ポケットwifiなどの場合、無制限を推奨。

8.修了要件(90 単位時間)

60% (54 単位時間) 以上の単位を取得すること。

- ①オリエンテーションへの参加
- ②オンライン映像講義の視聴と理解度確認クイズ(未実施がなく、合計点が 60 点以上であること)
- ③オンライン集合研修への参加と事前・事後課題の提出
- ④自己研修(映像講義視聴・自己点検レポート・相互評価)

※最終アンケートの提出を持って、認定者は修了証発行手続きとなります。

※研修終了時の取得単位時間数は途中辞退も含め、文部科学省へ報告されます。

9.成果

本研修の修了は、日本語教師としての履歴書に明記することができ、個人にとっても所属する教育機関にとっても、教育能力の保証の一端となり得ます。修了された方には修了証書を発行いたします(PDF)。

また、文部科学省 HP の修了者リストに名前が掲載され、文部科学省へ申請後、希望者にはオープンバッジが発行される予定です。

10.応募方法

受講希望者は、下記の QR コード(Google フォーム)から必要事項を入力し提出してください。



<https://forms.gle/dmHqCZLYB9HRxJp87>

応募締切日:2026 年 8 月 10 日(月)17:00

※応募者多数の場合は締切日より前に募集を終了することがございますので、予めご了承ください。

※電子メールにて受講の可否を通知します。

※受講料の支払い方法や受講方法の詳細については追って受講決定者にご連絡いたします。

※受講中はフルネームで参加していただきます。

11.問合せ先

一般財団法人日本語教育振興協会事業部 初任教員研修担当

Tel:03-6380-6557 (平日 9:30~17:30)

E-mail:nisshinkyoshonin@gmail.com

